

おおしまだより

2016年4月号

「おおしまだより」は1, 4, 7, 10月に定期発行いたします
バックナンバーは会計窓口にお問い合わせください

社会医療法人社団 順江会 江東病院 医療連携室発行
〒136-0072 東京都江東区大島6丁目8番5号
電話：03-3685-2166 (代表), 医療連携室：03-3685-2253
http://www.koto-hospital.or.jp
E-mail: renkei@koto-hospital.or.jp



新入職員 66 名がエキスパートを目指します！



希望に燃えて全員集合

桜が満開となった4月1日に、当院では今年も66名の新しい仲間を迎えることができました。

内訳は医師15名（臨床研修医6名含む）、看護師27名、薬剤師2名、臨床検査技師1名、理学療法士6名、作業療法士3名、放射線技師1名、栄養士2名、看護助手1名、医療事務8名です。

全員の連帯をはかるため、約一週間の日程で新入職員合同のオリエンテーションが行われました。就任式では小出理事長より「入社して最初の2年間は、これからの専門職としての人生を左右する重大な時期です。

できるだけ多くのことを学んで成長してください」という激励の言葉がありました。続いて各部門紹介、院内感染、医療安全、防犯、防災や接遇といった講義や実習などが行われました。その後は各職場において専門的なトレーニングが続けられます。



「消火訓練」まだまだ慣れてないですね！

新入職員はまだ不慣れで、みなさんにご不便をおかけすることも多いと思いますが、当院の理念を忘れることなくベストを尽くして患者さんに接してまいりますので、あたたかくお見守りいただければ幸いです。

【江東病院の理念】

1. 親切で誠実な医療を提供する。
2. 職員同士良いチームワークを図る。
3. 医療の質の向上を目指す。



診療報酬が改定されました

9年後の2025年には、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となります。すべての国民が、安心安全で質が高く効率的な医療を受けられるような体制を維持するために、国は病院の医療機能を急性期、回復期、慢性期に分けて、地域の医療機関同士の連携を強化促進する方向を示しています。

当院での主な診療費の改定（税込み）

- * 特定療養費（紹介状のない方の初診時）3,240円
- * 室料差額（1日当たり）
個室 16,200～17,280円
2人室 9,180～10,800円
- * 食費（一般の方）
一食当たりの負担額 360円
（詳細は医事課窓口でおたずねください）

今年度の医療費改定はそうした意向を強く反映したものになっています。当院は大学病院や近隣の病院、クリニックなどと様々な医療連携を行っています。上述の国の方針を受け、病状が安定した患者さんにはご自宅近くのかかりつけ医をご紹介し、処方や病状管理をお願いしていくことをすすめてまいります。増悪時や特別な検査が必要な際には、当院にいらしていただいで必要な処置、検査、治療をさせていただくことにはわかりありません。

また、紹介状のない患者さんが初診時の際にかかる特定療養費が上がります。かかりつけ医からの紹介状をお持ちの方には特定療養費は必要ありませんので、ぜひ紹介状をご持参の上受診くださるようお願いいたします。



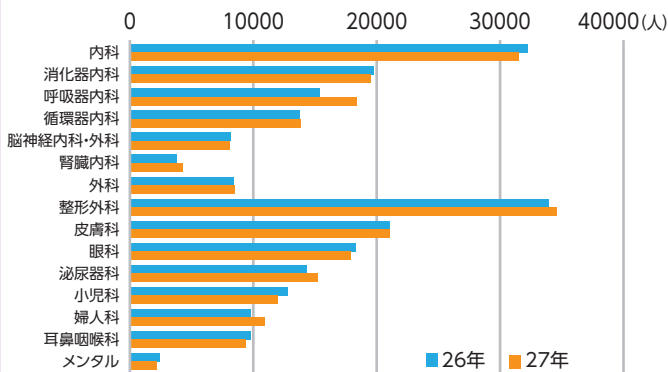
平成 27 年の診療実績

当院の平成 27 年の診療実績の一部（外来・入院患者数）をご紹介します。この実績は毎年 2 月末に行われる「年間統計報告会」で報告されたものです。

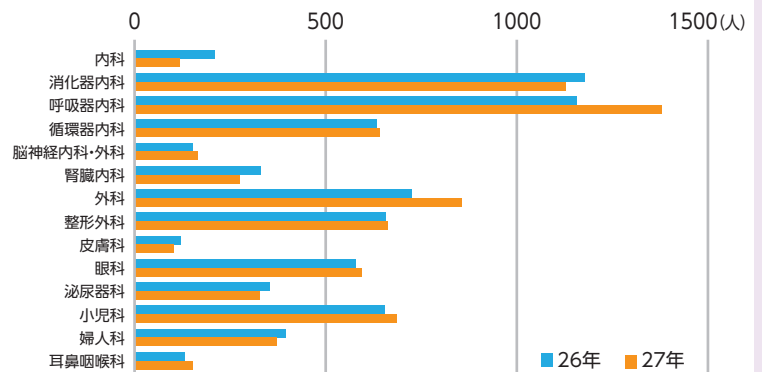
診療科別の外来患者数では整形外科が最も多く、次いで内科、皮膚科、消化器内科の順になっています。内科には一般内科の他、糖尿病内科、膠原病リウマチ内科が含まれています。前年度と比較して、呼吸器内科、婦人科、整形外科、泌尿器科で受診者数の増加が見られました。受診患者さんが増えますと、どうしても診療の待ち時間が問題となってきます。外来での待ち時間に関しては、様々な努力を行っていますが、根本的に解決することは、どの病院でも難しく、当院でもやや限界に近づきつつあります。症状が安定されて主に処方のみをさせていただいている患者さんには、当院連携医などのかかりつけ医に逆紹介することをお願いすることがあると思いますが、ご理解の上、ご協力下さいませようよろしくお願いいたします。

入院患者数に関しては約半数の患者さんは内科系の診療科の患者さんです。入院患者数の多い診療科は呼吸器内科、消化器内科、外科、小児科、整形外科の順になっています。昨年と比較すると呼吸器内科、外科、小児科の増加が目立ちます。

診療科別外来患者数推移



診療科別入院患者数推移



外来・入院患者数の増加が最も大きい呼吸器内科は城東地区の呼吸器内科の中では最大規模の陣容となっています。肺がんや肺炎、COPD、呼吸不全、喘息などすべての疾患の急性期の患者さんを基本的にお断りすることなく入院加療を行っています。皆さんは当然のことだとお感じになるかもしれませんが、多くの病院では全ての緊急入院に対応することは中々難しい状態であるのが現状なのです。今後は夜間の救急患者さんに対しても十分な対応が出来るような体制をつくっていきたくと考えています。

また、呼吸器内科と連携して診療している睡眠時無呼吸症候群（SAS）のポリソムノグラフィー（PSG）検査の実施数は毎年増加してきています。昨年はずいぶん都内の PSG 検査を行っている病院の中で最多の検査を施行することができました。これは当院 SAS センターが一貫して行っている適切で密度が高い診療体制をご評価いただいた結果と考え、より一層努力を続けてまいります。

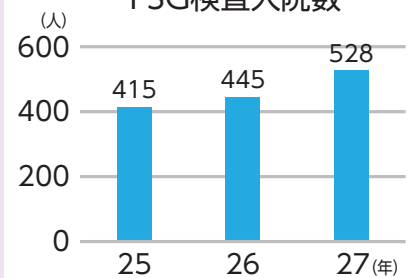


PSG 検査

外科では胃がん、大腸がん、胆嚢炎など、腹腔鏡手術を中心に治療しています。平成 26 年より腹腔鏡下ヘルニア根治術も導入し、より負担の少ない侵襲性の低い手術を目指して治療しています。

婦人科は手術件数が平成 26 年の 177 件から昨年は 182 件に増加しています。その要因は子宮頸部異形成による子宮頸部切除術が 7 例から 22 例に、昨年比 3 倍に増加していることによります。

睡眠時無呼吸症候群 PSG検査入院数



ヒポクラテスの木



ヒポクラテスの木は、紀元前のギリシャの医聖、ヒポクラテスがこの木の原木の下で講義をした事に因んだものであり、世界中の病院に分木されています。花散らしの雨が降った4月上旬の晴れ渡った空の下で若葉の息吹きが躍動し始めていました。

～今年の看護研究発表会から～

看護研究発表会は今年で18回目となり、平成28年2月6日(土)午後、西大島区民センターで開催されました。看護師が各病棟部署ごとに主体的に取り組むテーマは日常的に看護を行っている中で浮かび上がった問題点選ばれており、一年間取り組んだ成果を発表します。今年は下記の9つのテーマによる発表が行われました。

手術室チームは『腹腔鏡下大腸手術患者に対する術前加温の検討』というテーマで発表を行い、医師の協力とチームワークによって、術前加温することで患者さんの体温低下を抑え、術後の障害が発生する頻度を軽減する可能性がある事を示す結果を報告しました。

また、本館6階病棟チームは『弾性ストッキング装着に伴う掻痒感軽減のためのケア』のテーマで検討したところ、毎日の下肢清拭の際に、ホホバオイルを使うことで、皮膚が保湿され乾燥状態の改善が認められたとの成果を報告しました。

総括として小出理事長からは「9つの研究テーマは、それぞれよいところをつかんでおり、成果を全国規模の研究会で発表し、ブラッシュアップして論文にまとめてほしい。以前と比べれば内容は格段に進歩している」という講評がありました。柿川看護顧問からは「いずれも意義のある研究ではあるが、一貫性のある研究ができていたものと、そうでないものがあった。今後は正面から看護研究に取り組んでほしい」と、さらなる発展を期待されました。

今後も研究の質向上を目指し、院外の学会発表に向けた取り組みの継続と、看護の質向上に役立つ研究を進め、その成果は当院内の様々な場面へとフィードバックさせていくことを参加者は確認しあっていました。当日は延べ100人の参加者があり、収穫の多い発表会となりました。



【演題紹介】(発表順)

1. 看護職員としてふさわしい接遇を目指して ～患者さん・看護職員のアンケート調査の比較から～
2. 点眼の適切な指導の在り方についての検討
3. 弾性ストッキング装着に伴う掻痒感軽減のためのケア
4. リハビリに対する看護師、介護福祉士、助手の意識と指導に関する考察
5. 癌化学療法に伴う摂食障害に対する看護師の支援のあり方について
6. 評価表を用いた教育体制の実施 ～内視鏡検査・治療において看護技術の向上を考える～
7. チューブ類自己抜去予防のための取り組み ～チューブ類自己抜去予防アセスメントシートを用いて自己抜去件数減少を図る～
8. 腹腔鏡下大腸手術患者に対する術前加温の検討 ～術前加温することで患者の術中体温変化から考えること～
9. ストーマ管理技術習得に向けての関わり



診療科目 内科 循環器内科 消化器内科 呼吸器内科 腎・高血圧内科
糖尿病内科 膠原病・リウマチ内科 脳神経内科 小児科
外科 整形外科 脳神経外科 麻酔科 泌尿器科 眼科
耳鼻咽喉科 婦人科 皮膚科 美容皮膚科 メンタルクリニック
放射線科 血液浄化センター 外来化学療法室
リハビリテーション科 健診センター 睡眠時無呼吸(SAS)センター

職員数 常勤医:80名、薬剤師・技師:109名、看護職:250名、その他:117名

関連施設 東京綾瀬腎クリニック(電話:03-5680-6888)

江東病院附属 在宅診療所(電話:03-3685-0971)

介護老人保健施設「かがやきライフ江東」(電話:03-3640-2111)

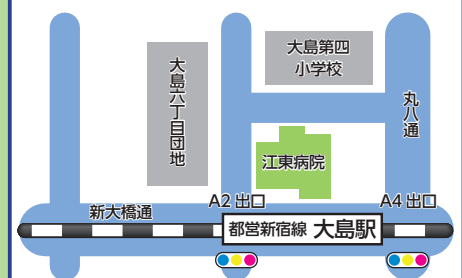
認知症高齢者グループホーム「サンライズホーム」(電話:03-3640-2112)

訪問看護ステーション「たんぱぼ」(電話:03-5627-5820)

厚生施設 看護師寮

院内保育所「すくすくナーサリー」

(平成28年4月)



- 都営新宿線大島下車(出口A2)徒歩1分
- 総武線亀戸駅より葛西橋行、東大島行、東陽町行バスで大島駅江東病院前下車
- 駐車場(患者さん料金):4時間まで300円、以降20分毎100円(透析患者さんは6時間まで300円、以降20分毎に100円)

トピックス ア・ラ・カルト

当院では、医師や医療スタッフを講師とした無料セミナーを毎月1回（第3または第4）土曜に行っています。ぜひご参加ください。

江東健康フォーラム開催案内



日程	時間	セミナー名	講師
5月21日(土)	13時30分	首都直下型地震に備えよ！ ～災害時のお薬と私たちにできること～	田中薬剤師（薬局）
6月25日(土)	13時30分	知っておきたい予防接種の基本	中村医師（小児科）
7月23日(土)	13時30分	糖尿病とイキイキ運動療法	安達理学療法士（リハビリテーション科）
8月20日(土)	13時30分	がん予防の第一歩！ 今日から始める食習慣	峯岸管理栄養士（栄養科）

場 所：本館 2 階北側待合室 会場の入場は 30 分前よりです。
定 員：50 名、直接会場にお越しください。
問合せ：医療連携室 電話：03-3685-2253

『全国病院改革ランキング』

様々なところで病院ランキングという記事を目にしますが、いずれもどこまで信頼性があるかはなかなか明確にはできないともいえます。ただしどのようなランキングであったとしても、よい成績であるに越したことはありません。今年も週刊ダイヤモンド（2016/3/19）で『全国病院改革ランキング』が発表されました。当院は東京都で 37 位（一般市中病院では 23 位）にランキングされました。正直なところ、まだまだという評価ではありますが、400～1000 床規模の病院が主な対象となっており、当院規模の病院の中では高評

価ともいえるものでもあります。

今回のランキングは、患者数や救急搬送患者受入人数といった地域連携や治療の効率性なども評価の対象になっておりました。

ダイヤモンド誌のランキングだけでなく、インターネット上には様々な病院の評価情報があふれています。この先も当院は、どのような形の評価でもランキング・アップを目指すだけでなく、数字には表れてこないところにも気配りを怠らず、患者のみなさんに満足いただける医療を続けてまいります。

臨床研修医 ～お世話になりました／これからよろしく～



お世話になりました。

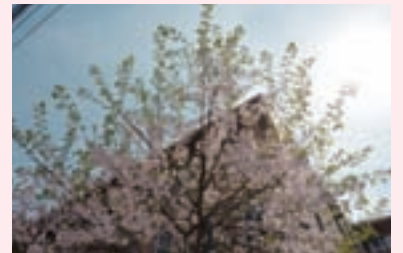
2年間の初期臨床研修医6名が無事に当院での研修を終えて新天地へと巣立っていきました。「机上で学んだことを現場で生かせる環境」が最高だった、「熱心な指導医に教えてもらった日々は宝物です」といった感想を残してくれました。数年後に一層成長して当院でその実力を発揮してくれることを期待します。



新臨床研修医です。

そして今年度も、新たに6名の初期臨床研修医を迎えることができました。今年も多く希望者の中から選ばれたポテンシャルの高い研修医たちです。2年目の研修医と合わせて12名全員がよりよい研修ができるように病院全体で取り組んでいきます。

今年も桜が咲きました



病院裏庭の桜が満開になりましたが……花冷えや むしろ湯豆腐 所望して……という戯れ句の如く桜の開花にあわせて、すぐ春満開とはいかないのが気候の常です。体調管理にお気をつけて下さい。

退職医師

(1月1日～3月31日)

古谷剛 / 脳神経内科、曾根岐仁 / 循環器内科、宮崎健二 / 呼吸器内科、小島拓人 / 消化器内科、伊藤翔子 / 消化器内科、
禾千絵子 / 腎臓内科、石橋武士 / 小児科、大島華倫 / 小児科、福田和泰 / 泌尿器科、桑原雅子 / 放射線科

医療機関の連携

患者さんのご紹介、検査予約
(MRI、CT、X線、超音波、PSG(睡眠時無呼吸症候群))

江東病院 医療連携室

電話：03-3685-2253 (直通)
03-3685-2766 (FAX)

E-mail: renkei@koto-hospital.or.jp

健診、人間ドック、その他オプション検査の予約

直通電話 一般健診 03-3685-2281 江東区健診 03-3685-2238

平日 8:30～16:00 土曜 8:30～12:00

診療受付時間

		午前	午後
初診受付	平日	8:00～11:00	11:35～15:00
	土曜日	8:00～11:00	休診
再来受付	平日	8:00～11:30	11:35～15:30
	土曜日	8:00～11:00	休診

休診日

日曜日・祝日・第2土曜日・年末年始

休日、時間外の救急は来院前にお電話ください

電話：03-3685-2166 (代表)